

龍野北高校 コミュニケーション英語Ⅲ Can-Doリスト

項目	1(習得過程)	2(標準)	3(習得達成)
Listening	既習の単語や語句を含む教科書の英文や対話文を聞いて、内容がある程度、理解できる。 身近な話題についての英文をゆっくりとしたスピードで聞いて、だいたい理解できる。	教科書やワークブック等のリスニング問題に出てくる英文や対話文を聞いて内容が理解できる。 ALTが話す日常生活のことや関心ある内容の話を聞いて、ある程度理解できる。	リスニング教材で、内容が複雑な英文でも、話の概要を理解することができる。 内容のわかりやすいテレビやラジオの英語ニュースを聞き、その概要についてある程度、理解できる。
Reading	教科書の英文に出てくる単語や熟語の意味を調べながら読んで、全体の意味が理解できる。 教科書以外の簡単なエッセイや物語を読んで、内容をだいたい理解できる。	辞書を使わずに、教科書の英文を読んで、パラグラフごとの要点や全体の概要を理解できる。.	入試レベルの英文を読んで、その内容を正確に理解することができる。
Speaking	教科書の内容についての質問に対して、簡潔に答えることができる。 日常生活や自分に関することを簡単な表現で話すことができる。	教科書の内容について、質問したり、答えたりすることができる。	教科書の本文の内容をまとめ、要点や趣旨を自分の言葉で簡単に述べることができる。 ある話題について、簡単なスピーチやプレゼンテーションをすることができる。
Writing	教科書の内容に関する質問の答えを本文の単語を使って簡潔に書くことができる。 自分自身のことや日常生活のできごとについて、簡単な短い英文を使って表現することができます。	教科書の本文の要約を既習の単語や表現を使って簡単な英文で書くことができる。	入試レベルの英文の要約し、英訳することができる。 入試レベルの条件英作文や自由英作文を書くことができる。

龍野北高校 コミュニケーション英語 1年生 Can doリスト

項目	番号	1(習得過程)	2(標準)	3(習得達成)
聞くこと	A	初めて聞いたストーリーの概略を少しだけ掴むことができる。	初めて聞いたストーリーの概略を半分ほど掴むことができる。	初めて聞いたストーリーの概略を80%以上掴むことができる。
	B	教科書の文章を聞いて、重要なポイントを1つは聞き取ることができる。(数字や人物の特徴など)	教科書の文章を聞いて、重要なポイントを半分ほど聞き取ることができる。(数字や人物の特徴など)	教科書の文章を聞いて、重要なポイントを80%以上聞き取ることができる。(数字や人物の特徴など)
	C	ゆっくり話されれば、簡単な指示を理解することができる。(Stand up, Come hereなど)	ゆっくり話されれば、授業でよく使われる指示を理解することができる。(Open your textbookなど)	ゆっくり話されれば、教員の指示に従って活動することができる。
	D	練習した後であれば、単語がつながって発音されても聞き取ることができる。(Come inが「カミン」など)	すでに習ったことがある表現であれば、単語がつながって発音されても聞き取ることができる。(How are you?が「ハウワーユー」など)	よく使われる表現であれば、単語がつながって発音されても聞き取ることができる。(Don't youが「ドンチュー」など)
読むこと	A	英語の文字から自分で発音をなんとなく推測することができる。	英語の文字から自分で発音を推測し、だいたい正しい発音することができる。	英語の文字から自分で音を推測し、ほぼ正しい発音することができる。
	B	初見の英文でも概要を少しだけ理解することができます。(テーマが分かる、など)	初見の英文でも概要を半分ほど理解することができます。(テーマだけでなくテーマに関する情報を多少見つけることができる、など)	初見の英文でも概要を80%以上理解することができます。
	C	教科書に出てくるある程度の長さの英文を、説明があれば理解することができます。	教科書に出てくるある程度の長さの英文を、辞書を引きながらであれば理解することができます。	教科書に出てくるある程度の長さの英文を、行間を意識しながら理解することができます。
	D	英文を見ながらであれば、まとまりのある短い英文のモデル音声をリピートすることができる。	英文を見ながらであれば、音のつながりを意識して、まとまりのある短い英文のモデル音声を聞きながら少し遅れて正しく発音することができる。(オーバーラッピング)	何も見ずに、音のつながりを意識して、まとまりのある短い英文のモデル音声を聞きながら少し遅れて正しく発音することができる。(シャドーイング)
書くこと	A	英語の音とつづりを一致させて書く努力ができる。	英語の音とつづりを半分ほど一致させて書くことができる。	英語の音とつづりを80%以上一致させて書くことができる。
	B	同じ内容を違う表現で書く努力ができる。	同じ内容を違う表現でだいたい書くことができる。	同じ内容を違う表現でほぼ全て書くことができる。
	C	与えられたテーマについて、日本語と虫食いのモデル文があれば、単語を入れて書くことができる。	与えられたテーマについて、モデル文を示されれば、単語を適切に入れ替えながら書くことができる。	与えられたテーマについて、自身の力でオリジナリティのある文が書ける。
	D	ミスはあるが、トピックについて自分の意見を1文でも書くことができる。	ミスはあるが、トピックについて自分の意見とその理由を2つ、序論・本論・結論の構成を意識して書くことができる。	トピックについて自分の意見とその理由を3つ、序論・本論・結論の構成を意識し、しかもほぼ正しい文法で書くことができる。
話すこと	A	相手の発言に対して、聞き返すことができる。	相手の発言に対してリアクションの表現を使って会話することができる。	相手の発言に対して、5W1Hを使いながら質問をして会話を続けることができる。
	B	英語で簡単な挨拶をすることができる。	簡単な自己紹介をすることができる。	初めて会う人に、自然な質問をしながらその人の情報を聞きだすことができる。
	C	事前に英作した自分の文章を紙を見ながら発表することができる。	事前に英作した自分の文章を相手の目を見ながらイントネーションに気を付けながら発表することができる。	事前に英作した自分の文章を相手の目を見ながらイントネーションに気を付けながら発表することができる。

龍野北高校 コミュニケーション英語2年生 Can doリスト

項目	1(習得過程)	2(標準)	3(習得達成)
聞くこと	初めて聞いたストーリーの概略を少しだけ掴むことができる。	初めて聞いたストーリーの概略を半分ほど掴むことができる。	初めて聞いたストーリーの概略を80%以上掴むことができる。
	重要なポイント(数字など)を1つは聞き取ることができる。	重要なポイント(数字など)を半分ほど聞き取ることができる。	重要なポイント(数字など)を80%以上聞き取ることができる。
読むこと	英語の文字から自分で発音をなんとなく推測することができる。	英語の文字から自分で発音を推測し、だいたい正しい発音することができる。	英語の文字から自分で音を推測し、ほぼ正しい発音することができる。
	初見の英文でも概要を少しだけ理解することができる。	初見の英文でも概要を半分ほど理解することができる。	初見の英文でも概要を80%以上理解することができる。
書くこと	英語の音とつづりを一致させて書くこと努力ができる。	英語の音とつづりを半分ほど一致させて書くことができる。	英語の音とつづりを80%以上一致させて書くことができる。
	同じ内容を違う表現で書く努力ができる。	同じ内容を違う表現でだいたい書くことができる。	同じ内容を違う表現でほぼ全て書くことができる。
	ミスはあるが、トピックについて自分の意見を1文でも書くことができる。	ミスはあるが、トピックについて自分の意見とその理由を2つ、序論・本論・結論の構成を意識して書くことができる。	トピックについて自分の意見とその理由を3つ、序論・本論・結論の構成を意識し、しかもほぼ正しい文法で書くことができる。
話すこと	文章を自分のペースで音読することができる。	内容を考えて表現の塊を意識して音読することができる。	文章をネイティブが聞いて理解できるintonation・発音で音読することができる。
	事前に英作した自分の意見を相手にしっかり伝えることができる。	事前に英作した自分の意見に、つなぎ言葉やリアクションを加えてある程度の長さ自然な会話をできる。	自分の意見のほかに、クラスメートの意見を聞き、質問をすることができる。